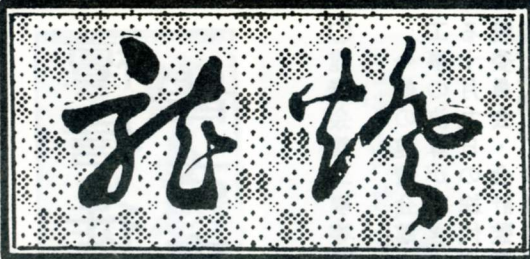


第13号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 靈龜山 九 鳥 禪 院  
 〒550 大阪市西区本田 3丁目4-18  
 ☎06-582-5772

発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



# 莊嚴華やかに挙行 皆様のおかげです

靈龜山九鳥院二十五代住職・奥田啓知禪師の就任式にあたる晋山式(しんざんしき)が、龍燈会館落慶法要に併せ、さる十月三十一日午前、厳肅なうちに華やかに挙行されました。同法要には、大本山萬福寺より黄檗宗第五十八代管長奥田行朗猊下を拝請し、黄檗山塔頭萬松院・奥田仁芳老師をはじめ法類や区内寺院住職三十九人、西区仏教会長・竹林寺保阪正昭上人の他、四百人あまりの檀信徒が参列されました。

前日までの雨が嘘のように晴れ上がり、秋気爽やかな晴天の下、総代酒向家仏間での回向、竹林寺開基西哲雲居士(九鳥院開基でもあります)の墓前回向を済ませた後、新命和尚の行列は午前九時五十分に、竹林寺を出発しました。

一行は、大阪供奴保存会(住吉大社の御田植え神事にも参加し無形文化財に指定)の面々の毛槍行列を露払いに、稚児さん四十九名を先頭に寺院方や総代さん等総勢百七十名でした。

新命の前には幢幡(どうばん)宮灯(こんて)提灯(ていとう)が進路を清め、サインモール商店街を整然と進み、定刻の十時三十分には山門到着。ここで一問答のあと山問の偈を唱えて本堂へ。

先代弘忠和尚が四大不調の為先代も住職を勤めた黄檗山塔頭萬松院の奥田仁芳老師が代わりに退山の偈を唱える退山式を、引き続き伝衣授与。法衣を代えて、ご本尊真前で今上陛下の聖寿無究、世界平和を祈念してご開山及び歴代住職や檀信徒各家先祖代々に一弁の香をささげました。

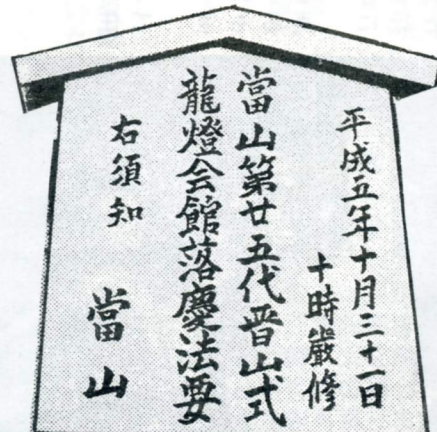
その後、龍燈会館へ舞台を移し、会館入口での禅問答。四人の僧との問答は裂帛の気合で満堂の参詣者を圧倒、会館内での法要に移りました。尺八奉納の後、引き続き龍燈会館の落慶法要が行われました。

儀式終了後、管長猊下より新命住職に賞典授与。僧階一級昇格し『版首(はんしゅ)』に任命されました。

朝方の晴天も儀式終了間際の鏡割りの時、一転俄にかき曇り一時小雨が降りりましたが、支障なく儀式は終了しました。

思いかえせば、平成二年復興工事開始以来、観音像の安全祈願祭および開眼法要、龍燈会館の地鎮祭および今回と、やはり雨が降ってしまいました。すべて、法要時には降雨も止み、不思議なくらい晴れ上がったのです。

ご開山龍溪禪師の水との深い因縁を思うにつけ、今回の小雨も、九鳥院の復興に対してのご開山の随喜の涙だとの、奥田老師の言葉が耳に残りました。



# 檀信徒の 皆さまへ

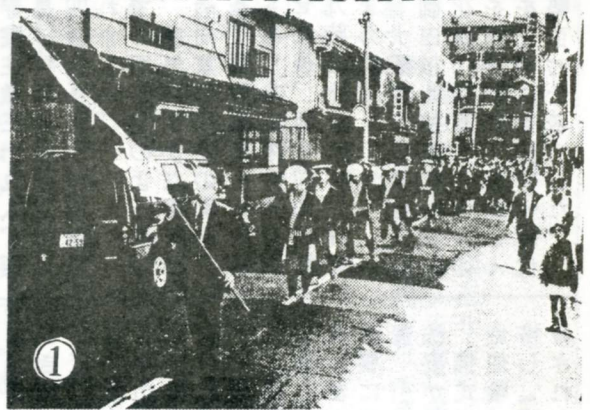
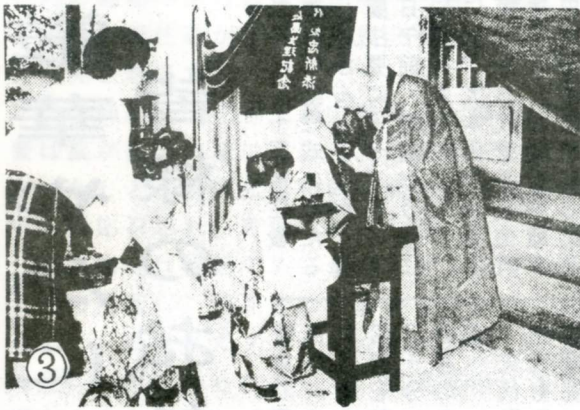
○龍燈会館工事等収支報告

今般の龍燈会館・境内整備  
工事の決算ができました。去  
る十月九日の総代会にて、建  
設委員会・会計監査の尾崎高  
志氏より、原帳簿等関係書類  
を監査の上、報告されました  
(支出の部)

工事関係費一億四千二百三  
十九万九千八百四十五円、仏  
具莊嚴費一千七十八万九千九  
百三十一円、設備備品費四百九  
万一千七百四十八円、事務費  
四十四万五千二百三十四円、  
会合費十萬四千九百九十一円、  
式典費八百二十六万六千九百  
九十三円、記念品費二百七十  
二万六千四百十八円でした。

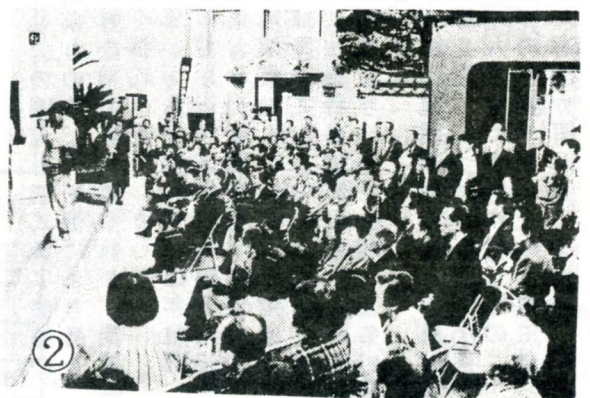
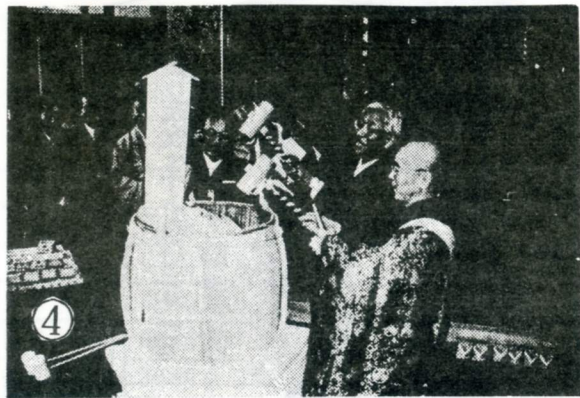
(収入の部)

寄付収入四千七百六十二万  
四千元、永代位牌・納骨仏壇  
冥加金収入六百五十万円、賀  
敬・お祝い収入五百六十六万  
一千元。不足分は寺院会計よ  
り繰り入れました。



①供奴の露払いで、新命住  
職の行列が進む。珍しくて  
沿道の目を奪った。  
②境内一杯の参詣者。本堂  
では収容できず、道路にも  
テントを九張りを準備する  
③お稚児さんに洒水する奥  
田仁芳老師。  
④全て無事終了。鏡開きに  
て、建設委員長酒向正和氏  
副委員長佐古口比佐志氏と  
ともに、九島院の発展を祈  
念する。

美しくおごそかに  
晋山式カメラトピックス



禅問答

度肝抜く激しい応酬

禅宗の晋山式には禅問答がつきものです。新命和尚が会館に入室するや四人の和尚方より問答商量が問いかけられました。

「いかなるか是、仏一新命「乾屎厥(かんしけつ)糞かき棒のこと」」「いかなるか黄檗の教え」「唯心の浄土、己身の弥陀」等々新命の大喝に参詣者は息を呑んで法悦に浸っておられました。

左の写真は黄檗宗管長奥田行朗猊下と慶瑞寺寺坂道雄老師の祝儀です。



雲龜精舎萬葉集 晋山落慶共修宗  
担信喜来仰 法座慈光祥芳永昌勝

瑞雲堂 晋山落慶共修宗  
晚秋九鳥 弘肆志加名松林清

○賽銭の寄付

当院内に設置している全ての賽銭箱に投じて頂いた浄財より、左記に寄付させて頂いた頂きました。

- 金壹万円(七月二十日) 産経新聞厚生文化事業団
- 金壹万円(八月二十七日) 『北海道南西沖地震募金』
- 鹿兒島件共同募金会
- 金壹万円(十二月七日) 中国残留婦人の会

ご浄財は、この他、線香や蠟燭の購入費に当てさせて頂いた頂きました。

○慈光堂で預骨もできます

龍燈会館二階の慈光堂では墓地への納骨までの間、ご遺骨をお預かり致しております。永代供養位牌もまだ余裕がありますので、三十三回忌や五十回忌でど忌上げを奇縁にご先祖さまの永代供養をしてあげて下さい。尚、永代供養位牌は、過去帳位牌ですので何盞でもお祀りすることができます。毎朝、住職が読経し供養しております。一度、ご参詣の折、見学して下さい。会館横の入口は常時開けております詳細は当院までお問い合わせ下さい。

ビデオテープ頒布  
ごあんない

九鳥院晋山竝龍燈会館落慶法要の編集ビデオを製作しました。九鳥院の歴史も編集され、戦前の伽藍や縁の懐かしいお顔が映っています。お稚児さんに参加された方や当院のお檀家さんには、是非、記念に『二度とない大法要』をお家の歴史として大切にしまっておいて下さい。  
30部限定特製ケース付き、価格3800円

円通宗統禅会  
ご案内

毎月17日(観音様のご命日)  
午後6時半～8時半  
場所 当院本堂と坐禅堂  
坐禅指導 黄檗山萬松院奥田仁芳老師  
提唱 龍溪禪師『宗統録』  
※フジサワ薬品社員有志の禅会ですが、広く、一般の参加者も募ります!

奉納抄

○ホワイトボード(黒板)寄贈  
(平成五年六月)

梶山清三氏より黒板が寄贈されました。有意義に使わせていただきます。厚くお礼申し上げます。

○講演机寄贈

(平成五年十月)  
「大内義雄氏より喜捨された金十万円で購入させていただきます。」

○焼香机寄贈

(平成五年十月)

西田栄子氏より『玉操仁輝大師』のご供養にと焼香机が寄贈されました。

○法被寄贈

(平成五年十月)

阿部村光氏より行列で使用する法被が十着寄贈されました。

○式典テント・イス一式

(平成五年十月)

「藤井リース株式会社より式典のテント・イス一式が提供されました。厚くお礼申し上げます。」

編集後記

▼晋山式も無事円成しました。坊守をはじめ多くの方々のおかげです。ありがとうございます。  
▼無我夢中で突っ走った五年間でした。念願の立派な伽藍もできました。いよいよこの伽藍を使い多様な活動をしたいと考えています。年忌表左記にのせておきます。  
▼ご法事にも、お寺をご利用下さい。お寺に人が集まり、活き活きしてこそ、ご本尊さまは喜ばれます。  
▼先月より坐禅会が始まりました。新年からは、漢詩の勉強会を始めます。毎月第4火曜日午後七時からです。  
▼詳細はお問い合わせ下さい。  
▼お寺の檀信徒の皆様のご親睦・研修の会を作り、年に一度バスでの研修を考えています。

●戦跡慰霊巡拝団○

まもなく新年があけます。平成6年は、終戦の年より数えて50年、仏事でいう50回忌となります。

1月16日(日)~21日(金)の日程で、フィリピンへ太平洋戦争の戦跡を訪ね慰霊する巡拝団に参加することになりました。弊師弘忠和尚の姉婿の伊丹常休寺住職が当地で戦死されご子息の現住職が伊丹市遺族会を引率して慰霊に出発されます。

同和尚曰く「亡き父親の戦死した場所での法要は涙が出てお経にならん。是非手伝ってこないか」と。弊師弘忠和尚も同じ南方戦線ラバウルに応召され、苦労されました。

弘忠和尚は僧侶であった為、大工出身の兵隊と共に残留し、戦死者の位牌書きにあたったそうです。部隊はガダルカナル島へ転戦し玉砕。九死に一生を得られました。引退間際、よく檀家さんのお家で、『椰子の実』の歌を涙ながらに歌っておられました。過ぎ去りし、兵隊時代の苦労を思い出してのことか、因みに和尚の左耳は上官に殴られて鼓膜が破れ、補聴器をした右耳も不自由でした。和尚の病気の遠因となったのではないかと思います。

和尚の戦友の慰霊もしてくる予定です。縁の人があれば、慰霊しますのでご一報下さい



年忌表(平成6年)

13回忌	昭和57年
17回忌	昭和53年
25回忌	昭和45年
33回忌	昭和37年
50回忌	昭和20年

回忌	死亡年
1周忌	平成5年
3回忌	平成4年
7回忌	昭和63年